

佐賀県研究成果情報（平成 25 年 3 月作成）

カンキツのフジコナカイガラムシ及びイセリアカイガラムシに対する防除効果の高い薬剤					
[要約]					
近年発生が増加しているカンキツのフジコナカイガラムシに対して ブプロフェジン水和剤 及び アセタミプリド水溶剤 、イセリアカイガラムシに対して ブプロフェジン水和剤 の防除効果が高い。					
果樹試験場・病害虫研究担当			連絡先	0952-73-2275 kajushiken@pref. saga. lg. jp	
部会名	果 樹	専 門	果樹虫害	対 象	カンキツ

[背景・ねらい]

近年、カンキツではフジコナカイガラムシ及びイセリアカイガラムシ等のカイガラムシ類の発生が増加し、被害が発生している。そこで、これらのカイガラムシ類に対して効果的な防除対策を確立するため、薬剤の防除効果を検討する。

[成果の内容・特徴]

1. フジコナカイガラムシに対して、ブプロフェジン水和剤（商品名：アプロード水和剤）1000 倍及びアセタミプリド水溶剤（商品名：モスピラン SL 液剤）2000 倍の防除効果が高い（表 1）。
2. イセリアカイガラムシに対して、ブプロフェジン水和剤（商品名：アプロード水和剤）1000 倍の防除効果が高い（表 1）。

[成果の活用面・留意点]

1. 近年、フジコナカイガラムシ及びイセリアカイガラムシの発生が増加しているカンキツ園で活用できる。
2. 防除の際には、薬液のかかりむらがないようにていねいに散布する。

[具体的データ]

表1 フジコナカイガラムシに対するブプロフェジン水和剤及びアセタミプリド水溶剤の防除効果 (2012年)

試験区	反復	調査果数	寄生果率	生育ステージ別虫数(頭)				
				I 齢	II 齢	III 齢	雌成虫	合計
1 ブプロフェジン水和剤 1000倍区	1	100 果	4 %	0	1	2	1	4
	2	100	1	0	0	1	0	1
	3	100	1	0	0	1	0	1
	平均	100	2.0	0	0.3	1.3	0.3	2.0
2 アセタミプリド水溶剤 2000倍区	1	100	4	1	2	2	1	6
	2	100	3	0	3	0	0	3
	3	100	3	0	3	0	0	3
	平均	100	3.3	0.3	2.7	0.7	0.3	4.0
対 照 DMTP乳剤 1000倍区	1	100	12	0	15	12	0	27
	2	100	5	0	2	4	1	7
	3	100	5	0	2	1	2	5
	平均	100	7.3	0	6.3	5.7	1.0	13.0
無 散 布 区	1	100	61	5	124	76	13	218
	2	100	38	5	49	22	6	82
	3	100	31	0	18	14	5	37
	平均	100	43.3	3.3	63.7	37.3	8.0	112.3

・ 6月22日に薬剤を散布し、散布32日後(7月23日)に寄生虫数を調査した。

表2 イセリアカイガラムシに対するブプロフェジン水和剤の防除効果 (2012年)

試験区	反復	6/12 (散布前)		6/27 (散布15日後)	
		生存虫数	生存虫率	生存虫数	生存虫率
ブプロフェジン水和剤 1000倍区	1	184 頭		7 頭	3.8 %
	2	156		0	0
	3	116		10	8.6
	平均	152.0		5.7	4.1
無 散 布 区	1	178		145	81.5
	2	124		109	87.9
	3	115		98	85.2
	平均	139.0		117.3	84.9

・ 薬剤は、6月12日に散布した。



写真1 フジコナカイガラムシ

写真2 イセリアカイガラムシ

[その他]

研究課題名：果樹における難防除および新奇病害虫の迅速な防除対策の確立

予算区分：県単

研究期間：2012年

研究担当者：口本文孝・白石祥子・野口真弓

発表論文等：平成24年度 佐賀県果樹試験場業務年報